

## 平成 22 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

### 1 集落協定の概要

都道府県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：安居島集落

交付金額：2, 3 1 2 千円

協定参加世帯数：1 7 人（うち漁業世帯 1 7 人）

### 2 協定締結の経緯

安居島集落は、良好な漁場を有し、一本釣り、刺し網が行われている。離島というハンディを抱え、基幹産業である漁業において、漁業者の減少や高齢化が特に進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、厳しい状況におかれている。こうしたことから、沿岸漁業資源の維持・増大、漁場環境の保全、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

### 3 取組の内容

#### ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・キジハタ(1, 300 尾)の稚魚を放流した。
- ・景観や自然環境を保全するため、集落周辺の海岸清掃を実施した。(年 1 回)
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視及び夜間監視を行った。(年間 26 回)

#### ②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、集落でヒジキ等海藻類の共同採取に取り組むとともに、採取した海藻を真空パック加工し、イベント等で販売するほか、市内の旅館や関東方面へも販売した。

#### 4 取組の成果

- ・キジハタの稚魚を放流したことにより、地先資源の増大が期待される。
- ・海岸清掃を実施することにより、自然環境の保全が図られた。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少が期待される。
- ・海藻類の共同採取と新たに水産物の簡易加工に取り組むことにより、地域コミュニティの活性化が図られることともに、加工品の販売が集落により新たな収入源として期待される。

加工販売(ヒジキの共同採取)	加工販売(ヒジキの袋詰め)
	
加工販売(ヒジキの加工)	キジハタの放流
	